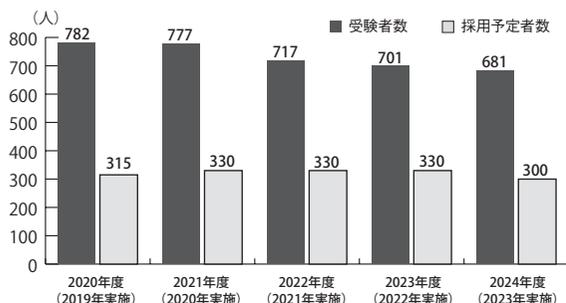




面積	4,248 km ²
人口	995,955人
県の花	チューリップ
県の木	タテヤマスギ
県の鳥	ライチョウ

求める教員像	子どもに共感し、寄り添うことができる人 自律心を備え、率先してものごとに取り組む人 広い視野を持ち、多様性を尊重する人 コミュニケーションを大切にし、他者と協働できる人 謙虚な姿勢を忘れず、自らを磨き、学び続ける人
出願期間	公開日 4月24日(水) 電子申請 4月24日(水)～6月7日(金) 19:00
試験日程	1次試験 試験日 7月13日(土)・14日(日) 合格発表日 8月2日(金) 2次試験 試験日 8月17日(土)・18日(日) 合格発表日 9月24日(火)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	[小] [中高] 国語、社会(倫理・政経、日本史・世界史、地理)、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、保健体育、音楽、美術、英語、家庭、農業、農業実習、工業(機械系、電気系、土木系、建築系、化学工業系、薬業系)、工業実習、商業、看護、技術、情報、福祉 [特] A B ※[特] Bは[特]の免許状がなくても受験可能 [養] [栄]
特記事項	■特別選考 以下の①～⑧対象者のうち、①、②、④、⑤、⑥対象者は、1次の教職・一般と実技に代えて、小論文と個人面接を実施。③、⑧対象者は1次を免除。⑦対象者は、1次の教職・一般と実技に代えて、小論文を実施(1次免除条件を満たす者は1次を免除)。 ①社会人経験A 同一の民間企業等で正規職員として平成26年4月1日～令和6年3月31日に5年以上継続して勤務経験がある者。 ②社会人経験B [中高]家庭、農業、工業、看護、技術、情報、福祉志願者のうち免許状を有しない者で、規定の要件を満たす者。 ③教職経験 次のア～ウのいずれかに該当する者。ア：県外国公立で3年以上の勤務経験がある現職教諭等。イ：本県教採に合格し、教諭等として3年以上の勤務経験があり、令和6年3月31日までに離職し、退職日から10年を経過していない者。ウ：3年以上の勤務経験がある本県以外の教職経験者で、令和6年4月1日～令和6年5月31日に本県公立の臨時的任用講師等として勤務した者。 ④特定資格 志願する種目・教科(科目)に応じ、規定の資格を有する者。 ⑤国際貢献 青年海外協力隊として継続して2年以上の派遣実績を有する者。 ⑥スポーツ実績 [中高]保健体育志願者で、規定の要件を満たす者。 ⑦障害者 ⑧大学推薦 [小・中高(本県教委が指定する教科)・特]志願者、又は[中高]家庭、農業、工業、技術、情報志願者で、規定の要件を満たす者。 ■免除 次の②又は⑦対象者は、同一種目、教科(科目)を受験する場合に限り、1次を免除。②令和6年度に「補欠」と決定された者。⑦令和6年度又は5年度の一般選考又は特別選考「障害者」の2次を受験し、令和3年4月1日～6年5月31日に県内国公立の臨時的任用の講師又は非常勤講師等教職員として勤務した者。

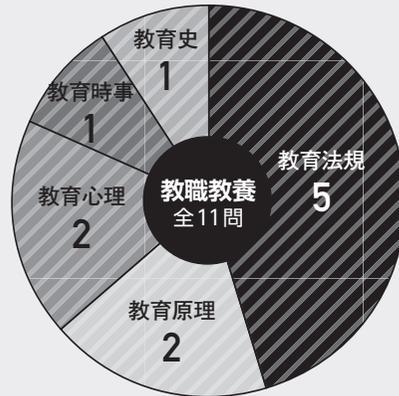
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	1,107	693	131
不登校(人)	856	1,336	483

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



- ▶ 教育法規は教育基本法と地方公務員法(服務規定)
- ▶ 幅広い領域から出題される教育心理と教育史
- ▶ 人文科学は国語(漢字の読み・書き, 現代文読解等)と英語(英文法, 会話文)

〈教職教養〉の**教育原理**(特別支援教育, 学習方法等)のうち, 特別支援教育では障害者の権利に関する条約第2条から合理的配慮に関する問題が出題された。学習方法では, プログラム学習の理解を問う問題が出題された。

教育時事では, 生徒指導と重複するが, 「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について(通知)」(2023年)から学校が連携すべき組織を問う問題がみられた。

教育法規では例年, 教育基本法が必出であり, 地方公務員法(服務規定)は頻出である。今年度は, 教育基本法から第13条(学校, 家庭及び地域住民等の相互の連携協力)が, 地方公務員法から第33条(信用失墜行為の禁止)が, それぞれ出題された。このほか, 学校教育法第38条や教育職員免許法第4条第1項, こども基本法第13条第1項も出題されている。条文のキーワードに加えて, 条文に対応する法令名を理解しておくことが必要だ。

教育心理では例年, 幅広い領域から出題されており,

今年度は教育評価からループリックを問う問題と, 心理療法・カウンセリングからラポールに関する問題が出題された。今回は出題されなかったが重要な人物名や理論の名称とその特徴も押さえておきたい。

教育史では, 西洋教育史からローマに「子どもの家」を建てたモンテッソーリの理解を問う問題が出題された。人物名, 思想上の特色, 著書, 名言といった項目から構成される一覧表を作成しておくとういだろう。

〈一般教養〉のうち, **人文科学**では国語(漢字の読み・書き, 現代文読解等)と英語(英文法, 会話文)から出題されており, 今年度も同じような傾向となった。**社会科学**では例年, 幅広い領域からまんべんなく出題されている。今年度は, 世界史では中世ヨーロッパ等, 日本史では室町・江戸時代, 地理では日本の地理や地図等, 政治では日本国憲法に関する問題等が, それぞれ出題された。**自然科学**では例年, 数学(数の計算, 式の計算, 方程式と不等式, 確率等)と理科全般からまんべんなく出題されており, 今年度も同様の傾向であった。